記者発表資料

令和8年8月6日
東北地方整備局
鳴子ダム管理所

令和8年7月31日からの大雨に関する 鳴子ダムの防災操作

～鳴子ダムにおいて洪水貯留を実施～

○令和８年７月３１日(金)からの大雨における、鳴子ダム管理所での防災操作についてお知らせ致します。
○７月３１日(金)から８月２日(日)にかけての大雨について、鳴子ダムでは防災操作(洪水貯留)を実施し、鳴子ダム貯水池に 397 万m3(東京ドーム 3.2 個分)の流水を貯留して、江合川の河川水位の上昇を抑制、涌谷水位観測地点で河川水位を 0.33m低減させる防災効果を発揮しました。
○また、江合川上流（山地）から流下した大量の流木・塵芥を捕捉して下流河川への流下を防止しました。

⇒出水概要の主なポイント

○雨量・ダム流入量

[雨量について]

・令和８年７月３１日(金)から８月２日(日)にかけて、鳴子ダム上流域では累加総雨量 251mm （時間最大雨量 20㎜/h)を記録しました

[流入量について]

鳴子ダムへの最大流入量は、毎秒 524m3 を記録しました。

⇒鳴子ダムの防災操作

・鳴子ダムは防災操作(洪水貯留)を実施し、江合川の河川流量を最大で毎秒 275m3 低減させ、貯水池に 397 万m3(東京ドーム 3.2 個分)の流水を貯留して、江合川の河川水位の上昇を抑制しました。

⇒鳴子ダムの効果

・その結果、涌谷水位観測地点で河川水位を 0.33m低減させる防災効果を発揮しました。

◎上記情報は、鳴子ダムホームページの「プレスリリース」コーナーにも掲載致します。
（https://www.thr.mlit.go.jp/naruko/press.html）

◎発表記者会　古川記者クラブ

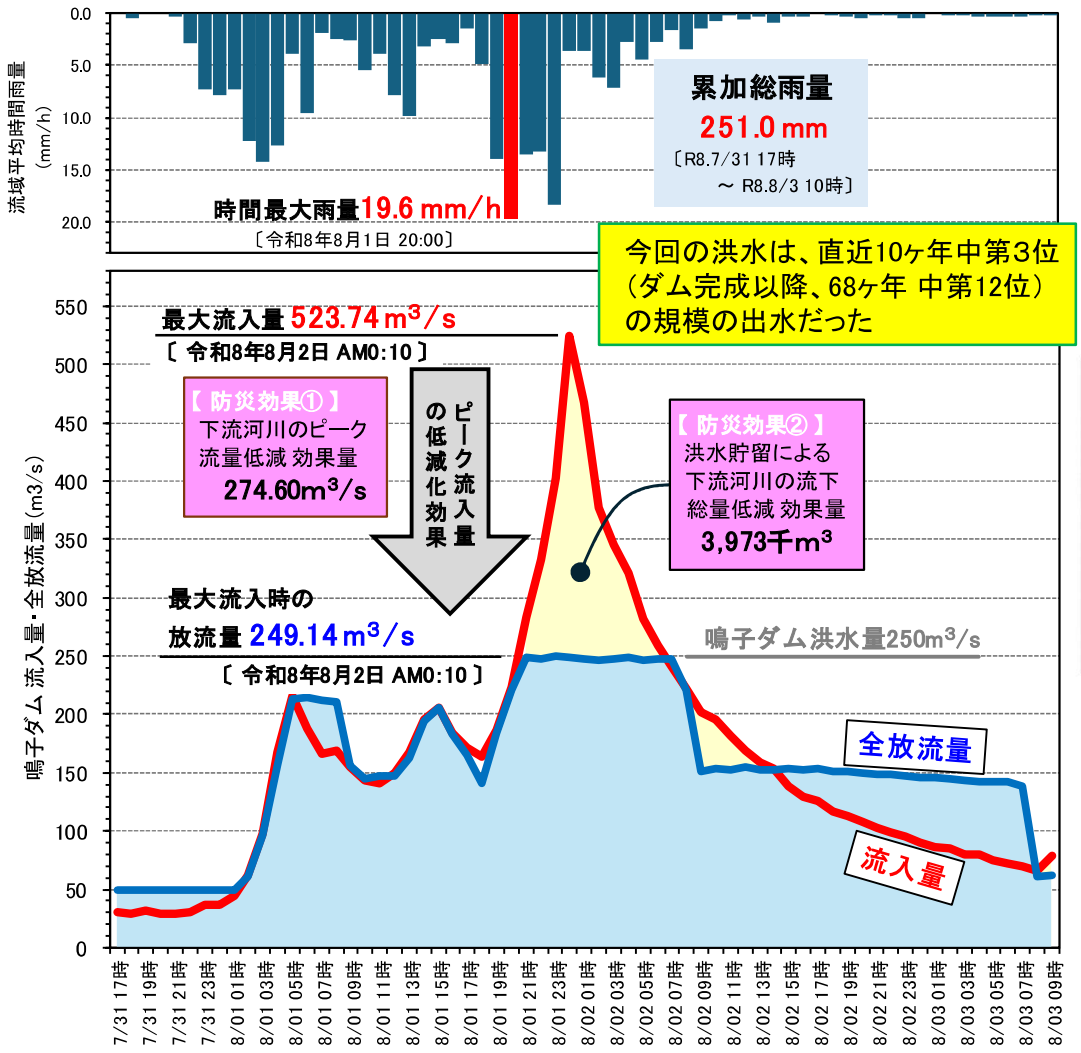
【国土交通省東北地方整備局 鳴子ダム管理所】 TEL:0229－82－2341(代表)
所　長　　片野 正章(かたの まさあき)
専門官　　木村 康文(きむら やすふみ)
管理係長　雫石 雅裕(しずくいし まさひろ)

速報値 令和8年8月2日洪水における鳴子ダムの効果

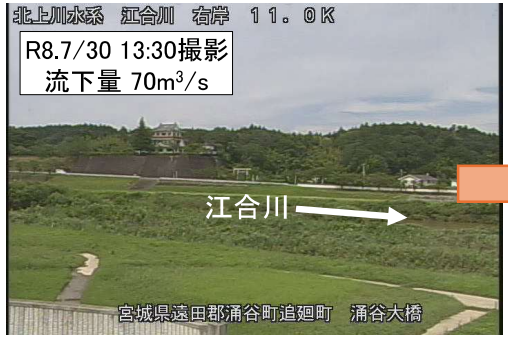
国土交通省 東北地方整備局
鳴子ダム管理所

○ 令和8年7月31日から8月2日にかけて、鳴子ダム上流域では累加総雨量251mm（時間最大雨量20mm/h）の豪雨が生起し、ダムへの最大流入量は毎秒524m³を記録した。
○ 鳴子ダムは防災操作（洪水貯留）を実施し、①江合川の河川流量を最大で毎秒275m³低減させ、②貯水池に397万m³（東京ドーム3.2個分）の流水を貯留して、江合川の河川水位の上昇を抑制した。
○ その結果、③涌谷水位観測地点で**河川水位を0.33m低減させる防災効果を発揮した。**
○ 鳴子ダムは江合川上流（山地）から流下した**大量の流木・塵芥を捕捉して下流河川への流下を防止した。**

注）本資料の数値等は速報値であり、今後の調査により変更される可能性があります



図−1　鳴子ダム流入量・放流量及び流域平均時間雨量の履歴図



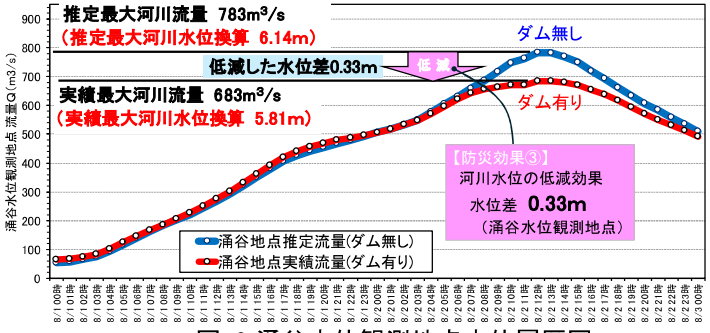
写真−1 涌谷水位観測地点の流況（平常時）



写真−2 涌谷水位観測地点の流況（出水時）



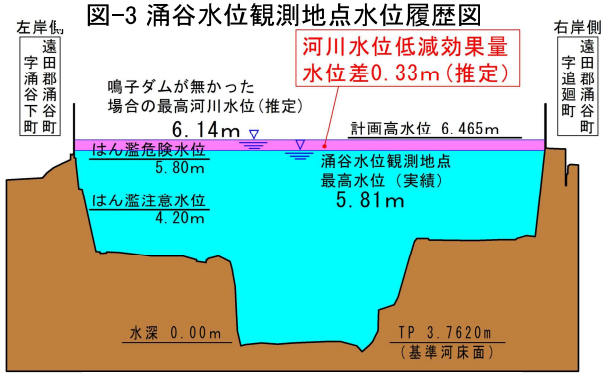
図−2 涌谷水位観測地点概略位置



図−3 涌谷水位観測地点水位履歴図



写真−3 鳴子ダム上流の流木・塵芥漂着状況
〔令和8年8月4日時点〕



図−4 涌谷水位観測地点水位断面図